

daily コラム

2024年5月10日(金)

〒308-0842 茨城県筑西市一本松 624-3

税理士法人和敬会筑西事務所 TEL 0296-22-3689 FAX 0296-25-0627

Email tfc@wakei-kai.com

インボイスで廃業の トップ業種は税理士

帝国データバンクが調査

帝国データバンクによると、2023年中に休業・廃業、解散を行った企業（個人事業主を含む）は5万9105件でした。2019年以降2023年初旬まで減り続けていた休業・廃業は夏以降に急増し、前年比110.6%と急増となりました。

休業・廃業はこれまで、持続化給付金等の資金繰り支援が功を奏し、コロナ禍でも抑制された水準で推移してきましたが、2023年に入り支援策の縮小、物価高、人手不足問題に伴う人件費負担の増加など四重・五重の経営問題が押し寄せたため、収益面・財務面で傷ついた中小企業では「事業継続か否か」の決断を迫られ、「あきらめ廃業」を余儀なくされている、とのことでした。

NHKの紹介報道

4月2日NHK夜7時「インボイス制度意外な業種に影響」というタイトルでのニュース報道がありました。「意外な業種」とは、ズバリ「税理士」です。

2023年の廃業数の増加率が前年比で最も高かったのは「税理士事務所」だったのでした。

従前から税理士の高齢化が課題となっていた中で、競争激化による顧問企業の減少、

顧問料の低下など経営環境の悪化がある中で、インボイス制度の導入など新たな業務のスタートなども影響したとみられる、と前記の帝国データバンク情報にあり、これを紹介していました。

全国企業「休業・解散」動向調査(2023)

帝国データバンクの公開情報の「業種詳細 前年比増減率・休業率上位推移」の項目の「増加率 上位」の最上位に、「税理士事務所」があり、22年廃業30件、2023年廃業81件、前年比170%増と記されています。

「休業・解散率 上位」の項目のところで、「会計事務所(税理士事務所)」は2023年廃業率4.97%で上位4位に位置するとされています。

因みに、「社労士事務所(社会保険労務士)」が2023年廃業率5.24%で、税理士事務所より上の上位3位の位置を占めています。

社労士業界の休業・解散率の高さの原因は、税理士業界と共通しているように思われ、消費税インボイスの登録事業者になるか否かの判断に当たり、「あきらめ廃業」に舵を切ることになったところが多いのだと思われます。

税理士の廃業数の増加率は2位の業種の85.5%の倍というダントツ一位

